

# 自民党 県会報告 第202号

**6月県議会 定例会** 会期 6月21日(火)～7月6日(水)

## 物価高騰等の課題解決に向け 全力で取り組む

6月定例会は新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開会され、令和4年度一般会計補正予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など41件を可決いたしました。

自民党議員会からは、代表質問1名、一般質問4名が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰等対策の取組についていたしました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。



**令和4年度一般会計補正予算 189億6,900万円**

**【主な内容】**

- **福島県沖地震への対応(93億342万円)**
  - 被災した漁港の施設などの復旧整備に要する経費補助(1億150万円)
  - 社会福祉施設や障がい福祉施設等の復旧整備に要する経費補助(5億6,660万円)
- **新型コロナウイルス感染症対策(45億7,078万円)**
  - 高齢者施設や児童福祉施設等の感染拡大防止対策(9億5,319万円)
  - 自宅療養者への支援体制強化(14億4,697万円)
- **ひょう害への対応(1億3,300万円)**
  - 令和4年5月及び6月に発生した果樹等ひょう害への緊急支援(1億3,300万円)

### 自民党議員会が提出し可決した意見書

- 我が国及び国際社会の平和と安全を確保するための防衛力の抜本的強化を求める意見書
- 中小企業・小規模事業者の成長と経営の安定化を求める意見書

### 代表質問(令和4年6月24日)



自民党議員会を代表して、政務調査会長の矢吹貢一議員(いわき市選出)が登壇し、代表質問を行いました。

◎総合計画に描いた将来の姿の実現に向けてどのような姿勢で取り組んでいくのか。

**▲内堀知事**

丁寧に対話の機会を重ねて計画に込めた想いを共有し、共感していただき、未来に向かって共に挑戦する仲間を増やす。引き続き私自身が先頭に立ち、未来を拓く挑戦を続け、計画に掲げた目指す将来の姿の実現に向けて全力で取り組んでいく。

◎県産農林水産物のブランド力強化にどのように取り組んでいくのか。

**▲農林水産部長**

ブランド力強化推進方針を本年9月を目途に策定する。生産から消費に至る各段階の取組の連携を一層強化し、本県農林水産物の強みを更に磨き上げ、福島ならではのブランド力強化を図る。

◎ふくしま医療センターこころの杜における精神科医療の充実にどのように取り組んでいくのか。

**▲病院局長**

本年8月に建物が完成し、10月中旬に診療を開始する予定である。新病院では、児童思春期病棟を新たに設置し、これまでに取り組んできた専門外来に加えて、入院による治療体制を整え、精神科医療の更なる充実を図る。

◎浜通りの観光振興にどのように取り組んでいくのか。

**▲観光交流局長**

ホープツーリズムの対象を個人旅行者にも拡充するとともに、マリンレジャーなどの海をテーマにしたブルー・ツーリズムを積極的に推進し、楽しさを組み合わせた観光振興に取り組む。

### 原油価格・物価高騰等対策

**福島県の予算額 42億9,038万円**

原油価格や食材価格の上昇に苦しい中、この局面を打開する為、国の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を踏まえ、福島県独自の生活者支援と事業者支援を行い、社会経済活動の回復をするべくしっかりと取り組んでまいります。

**【主な内容】**

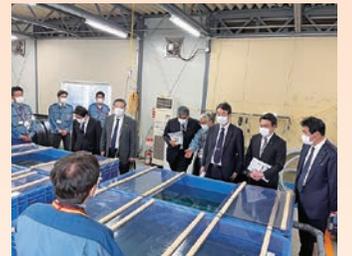
- 原油価格高騰等による生活困窮者への緊急支援(4億8,649万円)
- 低所得世帯に対する高校生等奨学給付金(4,020万円)
- 県立学校における学校給食費等への緊急支援(2,808万円)
- ウクライナ避難民の児童生徒への支援(737万円)
- 肥料や配合飼料価格高騰等への緊急支援(6億502万円)
- 燃油価格高騰による園芸農家等への緊急支援(1億300万円)
- オンラインストアを活用した生産者への緊急支援(1億802万円)
- ふくしま商店街等応援事業(11億2,530万円)
- 製造業における省資源化・高効率化への支援(4億円)
- 地域公共交通事業者や運送事業者への緊急支援(11億7,855万円)
- 省エネルギー導入促進への支援(1億4,324万円)

### 自民党議員会の活動

#### 福島第一原子力発電所視察

5月11日、東京電力福島第一原子力発電所を視察しました。

自民党議員会の政務調査会、総務部会、農林水産部会、企画環境部会の正副部会長が参加し、廃炉への進捗状況や、処理水の安全・安心な処分に向けた取組と、希釈水でのヒラメ飼育に向けた準備状況を確認してまいりました。



#### 降ひょう被害への支援策を要望

6月2日から3日にかけて県内各地で降ったひょうにより、果樹をはじめとする農作物に被害が発生しました。

自民党議員会は、6月7日、被害状況を把握するため、被害にあった県内のりんごやきゅうりなどの農産物の生産現場を視察し、6月20日に内堀知事に対して、降ひょう被害に対する支援策をはじめ生産者の救済策を速やかに講じるよう要望しました。

その結果、県は、農家の生産力確保などに向けた緊急支援策を決定しました。

自民党議員会は、引き続き、生産者の方々の声をしっかりと受け止め、国や県に対して、必要となる施策について要望してまいります。

